

明トラ analysis (第4回)

明専トランプ プレイ研究 プレイの流儀 作法と設え 3

制 54 若林 澄治



「明トラ巻頭言」を作りました。

九州工大に伝わる「巻頭言」の明トラ版です。発声法は従来の「巻頭言」同様に、腰を低くして拳を突き上げ、思いきり声を張って雄叫びます。明トラ巻頭言を咆哮した後に、『明トラソング』を続けて歌うことをお勧めします。明トラソングは別途、発表します。

明トラ巻頭言

《没有明彪 没有人生》

No Meitora, No Life

作：若林澄治

天狼星 布良星 耀変の京師
此処 座蒲団四面に蹴座す
我等明専 五萬の健児

アゲは ズツパ クツパ
ダイパに優る ヘルパを吹き
ポンは テン クイーン
ゴングに刺するも 正裏が勝つ
カモは 朋輩といえど
無情に徹し 逆追いで撃ち
キリは 敵将 勝ち札を
蹴散らして タンチェンが踊る

此処 乱れ飛ぶ札のもとに馳せ参ず
我等 九工大 益荒男(手弱女)が
吹きをば見よや
いざ、スラまんな 踊らんかな
技術に堪能なる 明トラ士君子よ!

…(明トラソング 斉唱!)
アイン ツバイ ドライ!

※女性パート(手弱女…しなやかで優美な女性。たおやかな女性)

A 作法の部

Ⅲ、作法 発展編

Ⅲa、シグナル

20、スーツシグナル

(ハイ・ロー シグナル)

「スーツシグナル(ハイ・ローシグナル)」は、相手に対して指定のスーツをリードしてくれるよう誘導するサインです。

相手側や相方が自分の持たないスーツをリードした時に、(キリ札で切らず)他のスーツカードをネグる局面があります。通常は最下位カード、次に2番目下位カードの順にネグります。しかし、自分の出して欲しいスーツがある場合は、先に2番目下位カード、次に最下位カード、と通常とは逆の順序でネグります。これは相手へ向けて、ハイローのスーツシグナルになります。

【事例】(♠の表示は省略)

- ・局面：NT or バイブル勝負
- ・MP (メインプレイヤー)：W
- ・キリ札：Sは♠のMax札を持つ

・場面：Wが♥スーツをリードする



※1番手〜4番手は出し札の廻り順。次巡以降、番手の順番は変わる

※《略号》

N・E・W・S：プレイヤーの席位置、R (Round)：巡目、Tzn：タンチェン、T (Ten)：10、—：その巡の勝者、ST (Suit Trump)：スーツキリ札、NT (No Trump)：キリ札なし、MP (Main Player)：主たるプレイヤー、SP (Sub Player)：MPのパートナー、バイブル (By-Product)：キリ札スーツ以外のサイドスーツ

●展開

- ① 1R：♥ W 8、♥ S 6、♥ E A、♥ N 5
- ② 2R：♥ E 9、♥ N T、♥ W K、♥ S 8

③ 3R・W♥7、S♠6、E♥J、N♥Q

※Sは2巡目に♠8、3巡目に♠6と通常とは逆順に出し、相手Nへスツシグナルを送っている。

④ Nは次巡(4R)で相手Sのスツシグナルに伝えて、♠スツをリードすると、Sは♠A、♠Kで勝つ。

相手がネグるカードにも意識を向けて、相手の意図あるカード捌きに応えるようにする。

●作法為落し(スツシグナルを送らなかった場合)

Sが2巡目に♠6、3巡目に♠8と通常通りに出した場合、NにとってはSが不要スツをネグったとしか見えず、♠スツのリードを誘導しているとは思わない。Nは♠スツが弱いため、他のスツにハイカードがあった場合、ロー・K等で他のスツをリードすることになる。

その後、W・E側も強くない♠スツを積極的にリードすることもなく、Sに他のエントリーがなければそのまま♠スツは廻らずじまいでゲーム終了することが起こりえる。

21、ルーザー2枚はハイから

「ルーザー2枚はハイから」は、

相手に対して2枚切れルーザーのスツをリードしてくれるよう誘導するサインです。スツシグナル(ハイロー・シグナル)の一形態です。Max札にはなり難いルーザーが

2枚あり、かつキリ札を持つ場合に使う技です。そのルーザー2枚をディスクカードした後、相方がそのスツをリードしてくればキリ札で切ることができます。

自分の持つていないスツ、あるいはルーザーのスツが廻る時、スツシグナル同様に、最初は上位カード、次に下位カードの順にネグります。通常とは逆の順序です。相方がそれを認識して、リード権を取った時にそのスツを廻してくれば、2枚のルーザーを捨てきった自分はキリ札で切ることができます。

22、エンカレッジ

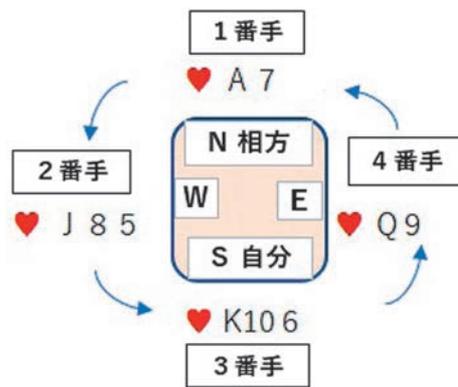
(カモン・シグナル)

「エンカレッジ」は、相手のリードに対して上位のカードをディスクカードし、リードされたスツを継続するように求めるシグナルです。肯定的(ウエルカム)シグナルになります。

自分がMax札を出した時は、相方が出すカードを注視します。相方が上位カードをディスクカードした

ら、同じスツのローカードを続けてリードします。

【事例】(♠♣の表示は省略)



※1番手〜4番手は出し札の廻り順。次巡以降、番手の順番は変わる

●展開

① 1R・N♥A、W♥5、S♥T、E♥9

② 2R・N♥7、W♥8、S♥K、E♥Q

※Nは相手Sが上位カードを出したのを認知し、♥スツを継続してリードする(エンカレッジ)。

23、ディスクカレッジ

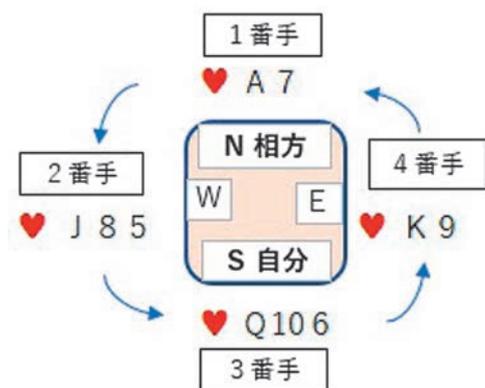
(ノンカモン・シグナル)

「ディスクカレッジ」は、相手のリー

ドに対して下位のローカードをディスクカードし、リードされたスツを継続しないよう報せるシグナルです。否定的(ノーサンキュー)シグナルになります。

自分がMax札を出した時は、相方が出すカードを注視します。相方が下位カードをディスクカードしたら、同じスツを続けるのは避けます。

【事例】(♠♣の表示は省略)



●展開

① 1R・N♥A、W♥5、S♥6、E♥9

② 2R・Nは相手Sが下位カードを出したのを認知し、♥スツは止めて、他のスツをリードする(ディスクカレッジ)。

- ③ 3巡目以降、Eがリード権を持った時に、EがMax札♥Kをリードすると、N♥7、W♥8、S♥Tを出して、Eが勝つ。すると、♥スーツはSの♥QがMax札に昇格する。
- ④ 結果、N・Sチームは♥スーツで2トリック勝つ。
- 作法為落し(♥Nが2巡目に♥スーツを継続してリードした(デイスカレッジを無視した)場合)
- ① 2R…Nが継続して♥7をリード。
N♥7、W♥8、S♥Q、E♥K
- ② ♥スーツは、Wの♥JがMax札となり、Wがリード権を持った時にWが♥Jで勝つ。
- ③ 結果、N・Sチームは♥スーツで残念ながら1トリックしか勝てない。
- 24、キリ札枚数シグナル
- 「キリ札枚数シグナル」は、吹き手側のサブプレイヤーが自分のキリ札枚数をメインプレイヤーに知らせるシグナルです。
- メインプレイヤーがキリ札を5枚持ち(残りキリ札は7枚)、キリを2度追った時に、3人から2枚ずつ出れば残り1枚になります。
- サブプレイヤーがその1枚を持って



月面で座布団の上で明トラする人たち

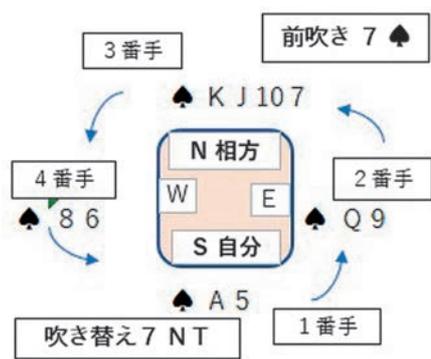
いれば、相手側のウイナーを切るのに有効に使えるため、3度目のキリ追いはNGです。相手側がその1枚を持っていた場合、味方側のウイナーを切られる可能性があるため、3度目のキリ追いを優先します。

サブプレイヤーは自分がキリ札を2枚持ちの場合、ローカード↓ハイカードの順に出していきます。3枚持ちの場合は、ハイカード↓ローカードの順に出していきます。

メインプレイヤーがキリ札の2度追いをした際に、サブプレイヤーがキリ札をローカード↓ハイカードの順に出した場合、残り1枚のキリ札は相手側が持っている判断できるので、3度目のキリ追いをします。

ハイカード↓ローカードの順に出した場合、残り1枚のキリ札は相手

- が持っていることが分かるので、3度目のキリ追いはしません。
- Ⅲb、キャッチボール
- 25、ブロック/アンブロック
- スーツのエントリに相手との連携がうまく取れず、自分が邪魔をして相方がそのスーツのウイナーやウイナーになる可能性のあるトリックを取れないことを「ブロック」していると言います。
- 相方に連続して勝たせる目的で、枚数の少ない自分のMax札を先に出したり、相方がMax札をリードした時に自分のNextMax札をデイスカードしてサポートする(自分がブロックするのを回避する)ことを「アンブロック」と言います。
- 【事例1】(♥♦♣の表示は省略)
- 局面…NT or バイブル勝負
 - 吹きの推移…E6♥↓N7♠↓W7♥↓S7NT
 - MP(メインプレイヤー)…S(後吹き)
 - SP(サブプレイヤー)…N(前吹き)
 - キー札…S♠A、5
- Nはバイブルが弱く、♠スーツ以外にエントリを持たない
- ・場面…Sがリーダーになった場面



- 前吹きの方々が♠スーツで吹いたのに対し、後吹きの方がNTで吹き替えた時に起こりがちな事例です。Max札とローカードの2枚持ちの場面で起こり易いブロック/アンブロックの状況です。
- 展開
- Sは相手Nが吹いた♠スーツのハイカードと長いスーツに期待して、7NTに吹き替えた。
- ① 1R…S♠A、E♠9、N♠J、W♠6
- ② 2R…S♠5、E♠Q、N♠K、W♠8
- ③ 3R…4R…Nが♠T♠7で勝つ。
- ④ 結果、N・SチームはSのアンブロックが成功して、4トリック勝つ。

●作法為落し（1巡目にSが♠Aを出さなかった（アンブロックしなかった）場合）

Sは1巡目の♠リードが失敗しても、2巡目以降に♠Aで自分の手に戻るよう、ロー札からリードした。

① 1 R... S ♠ 5、E ♠ 9、N ♠ K、W ♠ 6

② 2 R... N ♠ J、W ♠ 8、S ♠ A、E ♠ Q

③ 3巡目以降、Sは♠スーツを持たないためリードできず、NのMax札♠T、7を使わずじまいになる。

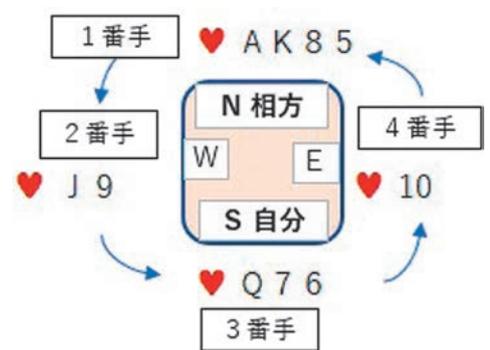
④結果、N・SチームはSが♠スーツをブロックしたため、2トリックしか勝てない。

【事例2】（♠の表示は省略）

相方が長いスーツとMax札を持ち、自分も1枚ハイカードを持っていた時に起こりがちな事例です。

・局面…NT or バイブル勝負
・メインプレイヤ…N
・キー札…Sは♥Q、7、6

Nは♥A、K、8、5を持つ
Nは♥以外にエントリがない
E・W側はキリ札を追い出されて持たない



●展開

① 1 R... N ♥ A、W ♥ 9、S ♥ 6、E ♥ T

② 2 R... N ♥ K、W ♥ J、S ♥ Q、E ♥ 無

③ 3 R... 4 R... Nは♥8、5をリードして、Nが勝つ。

④結果、N・SチームはSのアンブロックが成功して、4トリック勝つ。

※2巡目にWが♥Jを出したところで、Eがもう♥スーツを持つていないことと、Wがこの巡で♥スーツが0枚になることをSは判断できる。

Sは、Nのエントリを邪魔しないために、Next Max札♥Qを敢えてディスプレイしてNに勝たせる（アンブロック）。

●作法為落し（2巡目にSが♥Qを出さなかった（アンブロックしなかった）場合）

① 2 R... N ♥ K、W ♥ J、N ♥ 7、E ♥ 無

② 3 R... N ♥ 5、W ♥ 無、S ♥ Q、E ♥ 無

※Nにはもうエントリがないため、Nにリード権が戻ることはなく、Max札♥8は使われないまま終わる（ブロック）。

③結果、N・SチームはSがブロックしたため、残念ながら3トリックしか勝てない。

26、クロス切り（交互切り）

「クロス切り（交互切り）」は、相手と自分の手との間でお互いが持つていないスーツカードをリードして、切り札で切り合うことで交互にトリックを取るテクニクです。

切り札枚数をペア両者とも多く持つていれば、バイブル枚数は少なく、スーツ0枚のケースもよくあります。自分たちペアのバイブルが弱く（ルーザー）ても相方が0枚であれば、そのスーツをリードして、相方にキリ札で切ってもらいます。相手も同様に、こちらの持たないスーツをリードしてくれば、キリ札で

切って勝つことができます。この繰り返しが、クロス切りになります。

私はこの度、日本のコントラクトブリッジの総本山、(NPO法人)四谷ブリッジセンターの役員に就任しました。(公益社団法人)日本コントラクトブリッジ連盟(略称JCBL)と同ビルで事業展開しています。

JCBLは全国に約100拠点、1万人弱の会員を擁する大所帯です。コントラクトブリッジ(略称ブリッジ)は国際オリンピック委員会(IOC)認定の競技です。世界で最も普及しているカードゲームで、紳士・淑女の知的社交ゲームです。小説の題材になり、映画の中に伏線として登場するなどカルチャーへ昇華しています。ブリッジセンターは社交の場として全世界にあり、手ぶらでそこへ行けば何時でも誰でも参加してゲームすることができます。

明専トランプもコントラクトブリッジ同様、世界に流布し、九州工大のブランドイメージを向上させることを願っています。

この連載では時々、世界のコントラクトブリッジ情報を掲載します。(倉敷ふるさと大使、(NPO法人)四谷ブリッジセンター 役員)

明専トランプもコントラクトブリッジ同様、世界に流布し、九州工大のブランドイメージを向上させることを願っています。